

令和3年度 第2回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和3年11月19日（金） 10時～11時30分

■ 開催場所 平塚市博物館 講堂

■ 会議出席者（敬称略）

会 長 平井 晃

副会長 安室 知

委 員 植田 育男、上間 則子、吉川 裕子、藤吉 敬子

事務局 浜野館長、杉山館長代理（管理担当長）、川端館長代理（学芸担当長）

■ 傍聴者 0名

■ 会議の概要

1 開 会 浜野館長挨拶

2 議 事

（1） 報告事項等について

- ・ 令和3年度夏期特別展について
- ・ ホームページ・SNS等の取り組みについて

（2） 今後の事業計画等について

（3） その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

* 閉会后、秋期特別展の展示解説

■ 議事および質疑

議題（1）報告事項等について

◆令和3年度夏期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員長 アンケートの枚数がこれだけ多いのはすごい。市民の興味をひくテーマがよかった。

委 員 入館者8,115人、1日当たり184人は、なかなか多い数字と思うが過去の展示と比べどうか。

館 長 例年、7・8月は、子供たちの夏休みということもあり、入館者数が多い時期にあたるのもあるが、プラネタリウムや行事の定員を制限している中での数字なので、この特別展を目的に来られた方が多かったと考えている。

委 員 子どもの入館者が多いのは、学校や団体などの利用があったのか。

事務局 学校等の団体利用というよりは、夏休み期間というのもあり、家族での来館者が多かったように思う。

委 員 今回、オールカラーの図録が非常によくできている。焼失図などカラーで図版が見られるのは非常にわかりやすい。

委 員 アメリカ軍の情報はどうのように、入手したのか？

事務局 前任の学芸員がアメリカの国立公文書館に実際に行き調査してきたものである。

- 委員 アンケートで「よくない」との評価が2件ほどあるが、どういったものかわかるか。
- 事務局 個別のアンケートを確認しないとわからないが、アンケートの設問で「面白かった」、「楽しかった」等の表現があり、展示内容にそぐわないという意見をいただき、表現を修正しているので、そのあたりを評価されたのではと考えている。
- 委員 アンケートの多さは、展示の良さの反映と感じた。展示を見た方が、“感じた“ことを感想に書きたいと強く思われた結果がこの数字に表れていると思う。学校では戦争教材を扱うことがあるが、若い先生は”知らない““わからない“ことがある。生の声が記録されている今回の図録は先生にとっても良い教材になる。何年かおきにでも繰り返し展示されることを期待している。
- 委員 94才の私の母が戦争体験者。これまではあまり話したがらなかったが、今回この図録を母が見ていて、子供や孫にこの話をしていた。家族の中で思いがけず話す機会となった。
- 委員長 これだけ反響があったということは素晴らしい。今後も機会を見て続けてほしい。
- 委員 これまで何回くらい行っているか。
- 館長 これまで3回行って、戦後50年にアメリカでの調査を行い展示した。65年目に第2回の特別展を開催した。今回の展示も75年となる昨年に企画していたが、新型コロナの影響で今年の開催となった。そのほか、毎年夏には寄贈品コーナーで平塚空襲展を実施している。
- 委員長 学校などからの希望があれば出張事業などできるか。
- 事務局 希望のある学校では、「平塚の空襲と戦災を記録する会」の空襲体験者がお話しをする授業を行っている。昨年・今年は新型コロナのため実績はない。

◆ホームページ・SNS等の取り組みについて事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

- 委員 Twitterは、どのようなツイートをしているのか。
- 事務局 新着資料「メガロドン」の話題であったり、博物館の活動の報告であったり、今日見られる天文の話題であったりと様々だが、なるべく多くツイートするよう心がけている。
- 委員 情報源としてTwitterなどのSNSも今の時代の趨勢にあると思うが、月刊の「あなたと博物館」には、「5分でわかる平塚学入門」の動画シリーズの紹介がない。紙媒体とオンラインの相互に多様な発信ができると思うので、有機的に活用されては。平塚市博物館のユーチューブ動画はコンテンツ数の充実さとコンスタントに更新されているところは評価できる。
- 事務局 「あなたと博物館」は紙面の都合があるが、なるべく取り入れたい。
- 委員 プログラムの追加のスピードはすごい。学芸員みんなができるのか、特定の職員が長けていて取りまとめているのか。博物館日記のタイトルには「道端の間違い探し」など興味を引くような面白いものがあり良いと思う。
- 事務局 スキルの高い職員から教えてもらうこともあるが、それぞれ担当の分野の動画を作ることになるので、基本制作する部分はそれぞれの学芸員が行っている。
- 委員 以前平塚市のLINEに博物館の情報が発信されていないということを行ったところ、その後、たくさんの情報を発信していただき、さらに、Twitterでは日に何度もツイート、それも昨日

一昨日のことをすぐに発信していてうれしくなった。若い人も博物館をフォローしてくれたらよい情報発信となると思う。

委員 学芸員のやるが増えて、逆に心配になる。1つのタイトルを作るのに、どのくらい時間がかかるか。

事務局 「5分でわかる・・・」の場合、早い学芸員だと30分程度で制作している。

委員 「流星」の即時的な発信は楽しみになる。平塚学入門はあらゆる分野でコンテンツを増やしていて、これだけのものを作る能力は素晴らしい。

委員長 藤井学芸員をはじめ全国に知られる平塚市博物館というのはすごいこと。

議題（2）今後の事業計画等について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明

委員長 申込み制行事の人数は、どの程度を考えているのか。

事務局 申込み制の行事について、館内では各部屋の収容人数により規定。館外行事では20人を基準に、内容により若干の増減を許容している。

委員長 制限があると申込みにも影響が大きいと思うがどうか。

事務局 申込数はかなり多く、6倍から9倍となる場合がある。

委員長 定員を超えた場合は例年どおり抽選ということか。

事務局 抽選して人数を制限させていただいている。

委員 制限解除の方法、団体見学についてはどうか。

事務局 館内の人数を100人としているので、一般入館者のこともあり団体は70人までとしている。ただ学校では100人を超えることがあるので、クラス単位で時間をずらすなどして入館していただくことにしている。プラネタリウムの場合は、団体投影は、学習投影と幼児団体投影のみで、一般の団体は受け付けていない。

委員 講演会などで、ユーチューブのライブ配信をすれば、人数制限にとらわれなくても開催できるが、どうか。

館長 夏期特別展の記念講演会を申込者限定で録画配信した。当初はライブ配信の検討もしたが、市役所のセキュリティー上難しい状況があり断念した。今後状況を見つつ考えていきたい。

委員 録画を限定配信するのも方法の一つ。

館長 申込者の中には、自宅で視聴できない方もいたため、DVDに録画して貸し出す方法も取った。

委員 これだけの展示、行事を行ってさらに数字を求められるというのは、大変な苦勞が伴うと思う。

館長 当初は大変なこともあるが、一度軌道に乗るとコツなども覚えてきたり、改善点を話し合ったりとそれぞれ成長することで頑張っている。

委員 私の学校で先日、こちらの学芸員に地域を回りながら歴史の解説を行ってもらった。児童たちも楽しんでいて、いろいろ興味を持っていたみたいだ。こういった依頼をまたお願いしても大丈夫か。また他学年や他校に紹介してもよいか。

事務局 皆さんに楽しんでいただけてよかった。可能な限り対応するのでよろしくお願ひしたい。

委員長 地元の先生が少ないところでは、地域をよく知っている学芸員が違った視点で話すというの

は、子供たちにも新鮮で良い体験になるのでは。

館長 博物館と学校との連携というのは大事なこと。可能な限り対応していきたい。

委員 天文や自然など他の分野でも可能か。

事務局 ご希望のテーマによるが、可能な限り対応する。

委員長 浮世絵展の予定があるが、館には何点くらい収蔵されているのか。

事務局 収蔵点数は、今手元にないためにわからないが、出展数は十数点の予定である。

委員 コロナで制約がある中で、新たなコンテンツの制作など素晴らしい。今後ポストコロナで、これまでの動画制作なども続けていかれると思うが、対面の良さというものも大切にしてほしい。

議題（3）その他

館長 博物館の耐震補強工事の計画があり、これからの博物館のあり方、将来構想を取りまとめることを求められている。市民の意見を取り入れた形でとりまとめるにあたって、まずは館の来館者にアンケートを実施し、次いで、無作為抽出した郵送アンケートを行い構想をまとめる。3月の次回協議会で来館者アンケートの概略をご報告させていただく。

委員長 大変な手続きとなるだろうが、市民の意見をきちんと聞くというのは大事。

閉会后、秋期特別展を野崎学芸員の案内で見学した。

◆次回の協議会は令和4年3月24日（木）に開催することとした。

配 布 資 料

2021（令和3）年度夏期特別展「平塚空襲 その時、それまで、それから」

開催報告

会 期 2021（令和3）年7月16日（金）～9月5日（日）
休館日：月曜日（8月9日（月）は開館。8月10日（火）は休館）

主 旨 平塚空襲から75年を過ぎた現在、空襲体験者の高齢化も進み、市民のなかの空襲の記憶が薄れていく可能性がある。一方、博物館のワーキンググループとして活動する「平塚の空襲と戦災を記録する会」の活動は30年を超え、証言集『炎の証言』も21号を発刊するに至っている。この間、同会の調査・研究活動により空襲による被害や空襲時の人々の行動の一端が明らかにされ、さらに、空襲にいたるまで、空襲後における市民生活の動向も明らかにされつつある。そこで、本展示では同会の活動成果を中心に、明らかにされた平塚空襲の実態とその前後の市民生活を紹介することで平塚空襲の記憶と記録の継承をはかるとともに、平和と戦争を考える機会を提供することを目的とする。

展 示 構 成 I その時－平塚空襲の実相／II それまで－空襲への道のり／III それから－空襲後の暮らし、終戦後の暮らし

入 館 者

	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日	
	大人	子ども	合計				
7月	1,910	719	2,619	14	27.4%	187	
8月	3,185	1498	4,683	26	31.9%	180	
9月	624	179	803	5	22.2%	160	
期間計	5,719	2,396	8,115	44	29.5%	184	
(参考)	R2 春	6,075	1,887	7,962	62	23.7%	128
	R2 秋	4,247	1,199	5,446	50	22.0%	109

関 連 行 事 記念講演会「二宮・大磯・平塚における日本軍の本土決戦体制」 （参加138名）
日時：7月25日（日）～9月5日（日）
講師：市原誠氏（郷土史研究家）13:30～15:00
会場：博物館公式YouTubeチャンネルでの申込者限定配信
特別展展示解説会
① 7月31日（土） 13時～13時50分 （参加23名）
② 8月22日（日） 緊急事態宣言発出により中止

印 刷 物 図録「平塚空襲－その時、それまで、それから」
A4判 90頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥500
開催期間内頒布部数：278部 （参考）R2春187、R2秋200
ポスター B3判 カラー 400部
リーフレット A4判 カラー 3000部

アンケートの結果

回収枚数 227枚

(参考：R2秋「佐草健ボールペン画」展 138枚、R2春「火球」展 184枚)

回答者の住所 平塚市内 153名、平塚市外神奈川県内 63名、神奈川県外関東地方 1名
(n=220) 関東地方以外 2名 海外 1名

回答者性別 男 110名、女 106名、
(n=216)

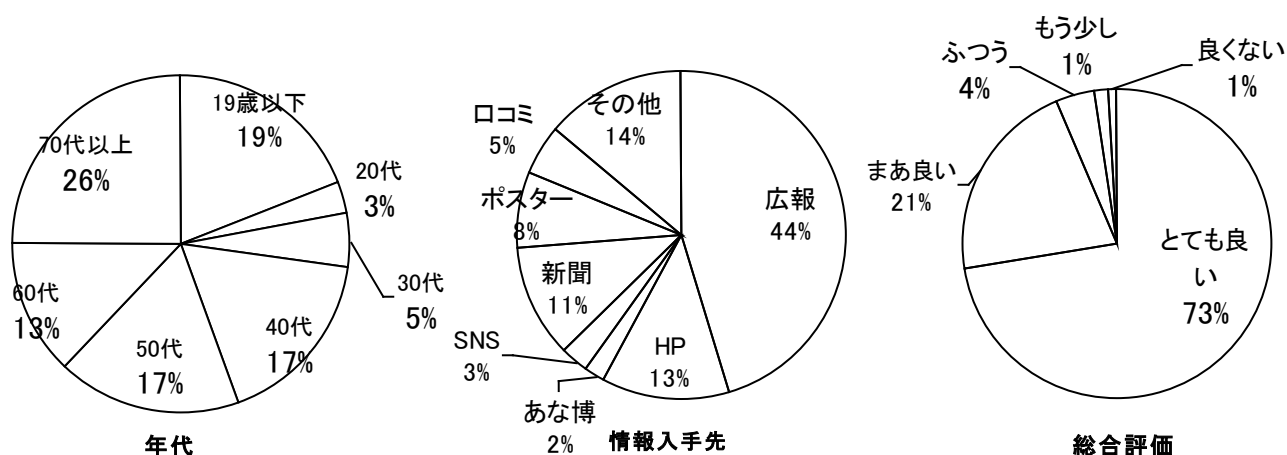
回答者年齢 (n=220)	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	42名	7名	11名	38名	38名	29名	55名

情報の入手先 広報ひらつか 118名、博物館のホームページ 33名、あなたと博物館 5名、
(複数回答有) SNS 7名、新聞等 29名、ポスター 20名、口コミ 13名、その他 36名
(n=261)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=211)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	142名	39名	25名	1名	4名
	67.2%	18.4%	11.8%	0.4%	1.8%

難しさ (n=222)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	114名	74名	18名	8名	8名
	51.3%	33.3%	8.1%	3.6%	3.6%

総合評価 (n=220)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	159名	47名	9名	3名	2名
	72.2%	21.3%	4%	1.3%	0.9%



集計結果の概要

アンケートの回収枚数は 227 枚でした。回答者の居住地をみると市内が多数で県外からの来館は少なかった。年齢別では 70 代以上が最多だが、19 歳以下も次いで多く、20・30 代が少ない傾向にある。特別展情報の入手先では、「広報ひらつか」に次いで、「HP」、「新聞」「ポスター」が多く、逆に「SNS」は少なかった。総合評価は、「とても良い」が 72.2% と、高い評価をいただいた。感想については以下に掲載する。

ご意見・ご感想

- いい展示だと思いました。10 代、20 代の人に見て貰いたい。(60 代・男)
- おもいでのかなつの紙芝居を読み上げたらじーっと聞いて絵を見ていた。当時の様子が子どもにも分かりやすく伝えられて良かったと思った。(30 代・女)
- 平塚江南の卒業生ですが、奉安庫などが現存していたことに驚きました。また女学校時代の写真や勤労日記なども見ることができ、戦時体制下の学校生活について考えさせられました。是非現役生や関係者に見て欲しいです。(自分が在学時は全く知りませんでした) 89 歳の祖母が「湘南平の砲台に使う木を切りに琵琶まで勤労奉仕に行った」「吾妻橋に GHQ の兵士がいてお菓子をもらった」「金目小の帰りに空襲警報が鳴ってあわてて避難した」といった話をしてくれますが、こうした証言は非常に貴重なものになると展示を見て感じました。個人的にも祖母が元気なうちに何か記録できないかとも考えていますが、「記録する会」の方でこうした記録も残しているのでしょうか。(30 代・男)
- 先週祖母が亡くなり戦争について知る人がいなくなり展示に来ました。とても興味にある展示でよかったです。(20 代・女)
- 女の子の「思い出の夏」という紙しばいを読んで、家もぜんぶもえてしまったし、しんでしまった人もたくさんいるのがかなしいことがつたわった。ばくだんはあんな形だと思わなかった。(小学生・女)
- 調査された展示資料は、どこかに公開 (web 上等) されてないのでしょうか。PDF ファイルで見られると良いです。(50 代・男)
- 住んでいる地域の戦争の傷跡を学ぶことは大切だと思いました。多くの若い世代に見て欲しいと思いました。(30 代・女)
- 小学生でもわかるようにカナをふってもらいたい
- 当時の史実資料がたくさんあってとてもわかりやすい。どういう経緯で避難したかの詳細な図があるのがよいと思う。当時の海軍火薬しょうが本土決戦体制のこんせきがたくさんあるのがすごいと思った。(中学生・男)
- 中 2 の息子と私、夫の 3 人で来ましたが、息子は家に数冊ある平塚空襲の証言集も読み込んでいたので、写真や実物で知識を再確認し、証言に見入っていました。自宅のある見附町周辺の被災の様子や、生々しい証言、実物の焼夷弾の凶々しさが強く印象に残りました。海軍火薬廠周りの写真の説明に撮影方向の矢印をつけて頂けると助かります。(40 代・女)
- もう少し年配の方の意見を聞きたかった。私の祖母は 105 才ですが、ピンピンしています。記憶などは確かな方も多いと思います。(40 代・女)
- 戦争のすごさを改めて見る知ることができて貴重な時間だった。資料もよく残っていたなあと感じた。子どもと来ていたので、戦争の怖さ・不必要なのを話し合ういい機会となった。(40 代・男)
- 鎌倉市から来ました。平塚市にはあまりくわしくありませんが、神奈川県内の近現代史を知る上で大変勉強になりました。ありがとうございました。(50 代・女性)
- 平塚は空襲被害が大きかったことは知っていましたが、実際写真・映像などをあまり見たこともなく、今日はとてもよく知ることができました。平和というものの意味を考えさせられまし

- た。忘れてはならないことなので、毎年開催すると良いと思います。(50代・女)
- ・母が空襲体験者(炎の証言第18号)現在病床にあり本人に代わって来場。(60代・男)
 - ・昨年見学 6歳の時に須賀川へそかい、同11月に須賀川へ行って見たが住んでた所不明。又見に来ます。(80代・男)
 - ・父が本土決戦の守りで平塚に赴任。終戦を迎え当時の柿澤市長と市の区画整理事業にたずさわった事など自分の子供の時に聞いたことなど重なり興味深く見させていただきました。(70代・男)
 - ・民間人をまきぞえにした戦争の恐ろしさを実感した。地域の資料を丁寧にたん念に集めまとめあげていて成果があらわれていた。まだ76年前の出来事だったのだと、そしてその後の復興力のすごさ…とてもすばらしい特別展であった。(60代・女)
 - ・1回では理解が十分でなく、2回、3回と足を運ぶようになりそうだ(60代・男)
 - ・知人の●●君の祖父である●●●●さんの貴重な資料を拝見しました。戦中の厳しい状況が文字から浮かび上がってきました。人の直筆は何よりも強いメッセージだと感動しました。(70代・男)
 - ・父が空襲に遭い、八電神社に逃げたという話を聞いていました。当時の様子が分かり、父が良く生きてくれたと胸にこみあげるものがありました。貴重な企画をありがとうございます。(50代・女)
 - ・記録と証言者の体験談が時系列的に対比出来たら更に分かりやすかったかも。(50代・男)
 - ・「現在の地図にみる火薬廠」の提示ですが、写真を撮った方向を地図に記載してください。それとHPからこの地図をダウンロードできるといいです。地図を片手に散歩できます。(40代・男)
 - ・小ぶりで手作り感の強く出た展示だが、とても見ごたえ・内容のあるものだった。是非後世へしっかり伝えて欲しい。できればもう少し字を大きく(60代・男)
 - ・駐車場1時間無料はありがたいのですが、1時間では見終わることができませんでした。(40代・男)
 - ・大局的な動きもおもしろいのだが、庶民の生活の様子がわかるものは興味ある。避難する様子、戦後、市役所が寄付金を募る文書などが印象に残った。軍事都市としての平塚の様子もよくわかってよかった。(50代・男)
 - ・二年前に父と一度来たことがあり、その時から歴史に興味を持ち学びました。今回は1人で改めて空襲の恐ろしさを実感することができました。夏休み中にまた来ます。(今度こそ父と!)
(中学生・男)
 - ・聞くと見るでは理解が全く違うことがわかりました。戦争には想像をこえるものがありました。こういう機会(展示)は絶やすことなく続けて欲しいです。(60代・男)
 - ・近年にない特別企画でした。特に展示品の中のM17集束弾を地上につきささった現物を川崎の空襲、翌朝に見た覚えがあります。(80代・男)
 - ・自分が生まれる前の戦争という出来事を少しでも身近に感じる事ができました。忘れてはいけない出来事だと思います。ありがとうございました。(40代・女)
 - ・平塚の70年前の過去を知った。小学校1年生まで平塚にいましたが改めて過去を知ることができました。(70代・男)
 - ・戦争が「歴史上の出来事」になりつつある中とても有意義な展示だと思い足を運びました。自分は戦争体験者の孫ですが、それを我が子にどう伝えるか、今時の子ども達に現実にあったことなのだと伝えるには実感してもらうにはどうしたら良いのかと考えます。(40代・女)
 - ・過去の展示から新しいことがあまり増えていなかったようですが資料が綺麗で見やすかったです。(体験をまとめた本を以前図書館でも読みました)民間人をねらう国際法いはんはいつも泣きそうになります。(40代・女)
 - ・平塚に住んでいる私にとって大変興味があり、本やネットなどで調べて知っているものもあつ

- たがとても勉強になりました。まだまだ知らないことが多く、貴重な資料を展示していただきありがとうございます。とても分かりやすかったです。皆様のご活躍が後世まで平塚の歴史を伝えてくださっていると思い、感謝しております。(40代・男)
- ・ 空襲を受けた時、小6でした。大変こわくて、そして…きれいに思いました。今迄言えませんでした。年を取りました。久し振りに涙が出ました。(80代・女)
 - ・ とてもこわかったです。(中学生・男)
 - ・ 静岡県在住。沼津の空襲の話は聞いたことがありました。平塚と同日であったのが興味深かったです。(70代・女)
 - ・ S13年生まれ まさに中心街に住んでいて、空襲の夜は海まで逃げた。その後の生活はまるで乞食以下の生活だった。食・住に苦勞した。(80代・女)
 - ・ 地図と証言をてらし合わせるとよりリアルな出来事として受け止められた。(50代・女)
 - ・ 当時の子どもの日記などを見て私と同じくらいの年齢で戦争を経験してて大変だっただろうと思った。学校の先生も大学生の時、大学で4年間戦争について研究してたくさん話を聞いて、私も戦争についてもっとくわしく知りたいと思っていたので、とてもいい特別展だった。(高校生・女)
 - ・ 江南のOGです。先輩方が命がけで過ごされた青春時代、とても哀しくなりました。自分が無邪気に高校時代を送れたので、平和の大切さを強く感じました。戦争(反戦)に関する展示、情報開示をこれからも期待します。ありがとうございます。(50代・女)
 - ・ 今迄知らなかった事や親から聞かされなかった(いえなかったかも)分ってとても良かった!!(60代・男)
 - ・ 普段何気なく過ごしている地域が数十年前にこのような経験をしていたことに改めて驚くとともに、大変勉強になりました。(30代・男)
 - ・ なぜ戦争をしてしまったのだろうか?国力の無い日本が大国アメリカと戦って勝てるはずがない。このような悲惨な結果でたくさんの民間人を巻き込み、この戦いは意味をなしていたのか?想像を絶する苦しい時代を感じました。(50代・男)
 - ・ 広島・長崎・沖縄については、テレビ等でよく取り上げられているが、この平塚という身近な所で空襲があったことに大変おどろいた。コロナ禍で大変な時ではあるが、日々平和に過ごしていることに感謝したいと心から思った。(40代・女)
 - ・ 改めて平和について考えたいです。もちろん戦争は絶対にしてはいけませんが、国同士の対立なども含め地球上の人類が争うことなく生きていけたらと思います。(40代・女)
 - ・ 私はS8年生の女性です。四之宮下柳の生れです。小4の時平塚空襲にあい、いまだにあの恐さは忘れる事ができません。(80代・女)
 - ・ 当時の地図の横に現在の地図もあると、よりわかりやすかったかなと思います。空襲の際の当時の人の避難ルートなど、証言を集めるのは大変だっただろうかと、そして米軍の攻撃ルートの詳細さやその他の資料の多さに驚きました。とても見ごたえがありました。(40代・女)
 - ・ 平塚空襲の実態が各種展示資料から読み取れました。現在茅ヶ崎市の海岸地区に住んで50年になりますが、小生宅の隣りに軍の司令部が一時置かれていたとの情報があり、アメリカ軍がどうしてそのような情報を待っていたのか平塚空襲の際その建物を破壊する為に爆弾を落として行った、との話が伝わっている。本当は焼夷弾ではなかったのか、本当の話は今もって不明です。(80代・男)
 - ・ 生々しい体験談のコーナーに強く感心しました。対談や回想の言葉にショックを受けました。(80代・男)
 - ・ 小学校2年の時戦争が始まり六年生の時終戦、戦争最中の小学生でした。六年生の七月、空襲の中防空ゴウに入ったのは何度、当時は四之宮に住んで居りました。空襲は昼夜を問はず、伯母は“キジユウソウシャ”にあった事あり。(80代・女)
 - ・ 分かりやすく、とてもおもしろかったです。知らなかったことや知識を深められたのでとても

- 勉強になりました。ありがとうございました。（高校生・女）
- ・空襲の話なので面白いとは言えませんが、とてもタメになりました。私的には展示物が多かったのもとても分かりやすく、絵もあったので小さい子でも分かると思います。また、アメリカ側のことも書いてあったので、本当にタメになりました。（中学生・女）
 - ・戦争のつらさやむなしさが伝わってきました。（小学生・男）
 - ・以前母さんが住んでいたのが明石町なので、空襲の話はよく聞かせてもらいました。博物館でも見れたのでとても学べたと思います。またきます。（20代・男）
 - ・平塚空襲の事が昔から気になっていたのを知れて良かったです。東京空襲は知っていたが、平塚というあまり知られていない市で空襲があり、実は結構激しかったと知りとても衝撃を受けました。また勉強しに伺いたいです。（30代・男）
 - ・この期間中このような展示をされていると知りながらなかなかゆっくりとみることができずにいましたが、今回はだいぶ展示物も多くとても詳しい展示だと感じました。ありがとうございました。（60代・女）
 - ・逃げた方々の証言は生々しくよくわかりましたが、場所等の文字が小さくわかりにくかった（地図の）（70代・女）
 - ・戦争の体験者が90代となりつつあり子供たちに伝えていくことの難しさを感じる。今、自分たちが住んでいる町で起こった事だと地図をみて理解できるよい機会だと思うので、定期的に展示をして頂きたいです。ありがとうございました。（30代・女）
 - ・ひらつかはむかしすぐたいへんだったんだとよくわかった。（小学生・男）
 - ・二度と戦争はダメ。若い人がよく理解してほしい、戦争をおこさないよう。（80代）
 - ・母から生前聞いていた平塚空襲が実感として思うことが改めて思い出しました。母は当時20才、寒川一宮祖母と2人で空襲を受けているのを目撃しています。※当時祖母と平塚が燃えているよ～と言っていたようです。（70代・男）
 - ・経験された方にしかわからないが、資料だけでも恐怖を感じる。（高校生・女）
 - ・平塚に住むようになって20年以上たちますが、子供の頃や学生の頃に平塚にいなかったので、平塚空襲について良く知りませんでした。思ったよりずっとおそろしかったです。（50代・女）
 - ・花菜ガーデン図書室に市の歴史を調べた冊子を見つけ興味を持ち来館しました。米軍の攻撃計画などそれまで漠然と考えてた様子とずいぶん違ったことに驚きました。証言を基に地図上の避難の道筋を記した展示に鬼気迫るものを感じました。ありがとうございました。（50代・女）
 - ・①焼け跡の大きな映像は良かった。②絵と文による体験の様子良かった。（80代・男）
 - ・焼夷弾の投下量の多さに驚きました。空襲の話（被害）だけでなく、化学兵器でなにをしようとしていたのか等（加害）、どちらも正しく残すことが我々の役目かもしれません（60代・男）
 - ・空襲時の避難行跡の展示が良かった。文章の体験談よりも分かりやすく一人一人の行動が分かり、空襲を「自分ごと」として抱えることができる。（想像することができる）（40代・男）
 - ・日本は戦争の無い時代が続き、戦争を経験した人々にふれ合う機会も減り、良い事なのですが、戦争のこわさ、むごさなども年々うすれているように感じます。こういう所で子どもたちに伝えることができ良いと思う。（40代・女）
 - ・戦争や空襲は広島イメージが強かったが、いざ学んでみると平塚も中心的に空襲をうけていてとても驚いた。有難うございました。（中学生・女）
 - ・初めてこういう展示会に来ました。体験した方の話もリアルに知ることができてとても身になるお話を知ることができました。ありがとうございました。（中学生・女）
 - ・ばあばにせんそうの時のことをおしえてもらい、ここにいかれてよかった。せんそうやげんばくのことをかんがえてとてもかなしくなりました。（小学生・女）
 - ・身近である平塚の地でこんなにも悲惨な歴史があったのかと初めて知り、その内容についても展示品とともに詳しく学ぶことができた。体験記を読んでいると、想像できないほど痛ましい景色や苦しい思いが伝わってきました。若い世代の私たちもリアルを知り、広めていく必要が

- あると思いました。（中学生・女）
- ・平塚で生まれ育ち、現在も住んでいます。父（1938年生まれ83才）が、空襲を経験しました。話には聞いてきましたが、空襲の全体像を知るために、今回の特別展は非常にためになります。父の実家は平塚3丁目にあります。父から私につながれた「命」が奇跡に思えてきます。（50代・女）
 - ・今、こんなに平和な平塚が空しゅうにあってたくさんの方が亡くなったと知るとおそろしい。私もあの時代にいたら死んでたかもしれない。そう考えるとおそろしい。（小学生・女）
 - ・データが多くわかりやすかった。一度見ただけでは物足りなく感じたので再度訪れたい。より学ぶための参考文献なども示してもらえるとありがたい。（40代・女）
 - ・お盆の時季になると思い出す出来事ですね。平塚に住んでいる者にとって辛い経験ですが忘れてはならないと思います。そして今の当たり前の日常は当たり前ではないことを認識できて良かったです。（40代・女）
 - ・昔の人たちはこんなに苦ろうしながら生活していたなんて知らなかったです。（小学生・女）
 - ・写真資料が多く残っていることに驚いた。視覚的に分かりやすく、考えるきっかけになる良い展示でした。（専門学校・大学等・男）
 - ・当時の人に聞いて作られた資料はどれも今まで知らなかったことが知れるので楽しかった。（高校生・男）
 - ・すごく勉強になりました。展示品もとても良く感動しました。欲を言うと「もっとたくさん見たい」という部分があります。学芸員過程を履修しているのでそれらも深めることができました。（20代・男）
 - ・自分の生まれる数十年前に起きていた事を思うと、本当に今の生活が恵まれているなど実感しました。被災者の方が亡くなくても、後生でずっと語り継がなければならないことだと強く思います。（30代・女）
 - ・同居の姑（94才）から、幾度となく話を聞いていましたが、写真や当時の人の文章・絵を拝見して、さらに知ることができました。戦争がいかに怖いもの、いけない事なのか、後世の人々にずっと伝えていって欲しいと痛感しました。（60代・女）
 - ・1、戦争戦災について考え方は人によって様々でしょうが、まずは事実を知ること。その意味で真生面な企画と思います。2、展示品の中で、旧県立平塚高等女学校生「連判状」この年齢で書の基本を習い、上手な気品ある書、感心しました。「清田時代」氏素晴らしい。（70代・男）
 - ・焼夷弾の大きさに驚いた。アメリカは自国への大規模な空襲を経験していないのでわからないかもしれない。現在でも他国へ同様のことをしている。（70代・女）
 - ・大きいスクリーンに出ている写真がカラーだと、もう少し子供の興味を引いてくれそうな気がしました（親）（小学生・男）
 - ・本当にもう少しだけてんじしてあるといい。子どもにはむずかしいから、分かりやすくしてほしい。（小学生・男）
 - ・大変興味深い展示だった。ぜひ1冊の本にまとめてほしい。私は東京出身で、親や親せきから東京大空襲の話聞いてきたが、平塚という特別な土地柄の生々しさに胸をうたれた。今聞ける話をもっともっと聞いておきたい。（50代・女）
 - ・平塚空襲のことを過去のこととして知ってはいたけど、今の自分の暮らしと重なって、現在につながりました。学徒勤労動員として神奈川県だけでなく、他県からも平塚に来て空襲で亡くなった方達がいたことは知りませんでした。
 - ・空襲展なのに“おもしろい”とは？非常に疑問（被災者等の心情をさかなでしている）（70代・男）
 - ・生まれた時から平塚に住み、空しゅうの話も父や祖母から聞いた事があるが、今回友だちに連れられてこちらに来て、あの話はこういう事かとよくわかり、とても興味が持てました。後地などをめぐってみるのもおもしろいと思った。同時にひさんさがわかり、戦争のこわさをあら

- ためて感じた。(50代・女)
- ・人数制限をしている中で少し同線がゴチャゴチャしているように感じました。字の細かさから近くで見るとはそれなりに時間がかかるし、集中したりと人数制限という中で見やすく、わかりやすくしていただく中であと一步検討してほしいです。(50代)
 - ・国による国民のマインドコントロール実にこわいと思いました。毎年市役所にも展示された戦争展みたいなものも見てきましたが、今年ここ博物館で行われた展示を見ることでよくわかるようになってきました。過去に「平塚9条の会」さん主催で中央公民館で行っていた展示などいろいろ見ることだんだんわかるようになったと思います。(50代・女)
 - ・何回か来ていますが、いつも平塚空しゅうの展示には感心させられます。文句なしの力作です。一人一人の方の(特に当時の若い方々の)証言集がよかったです。子どもたちが本当に沢山真夜中に逃げまどったことがよく伝わってきます。両足をうしない、それでもにげまどい、出血多量で亡くなっていった学生さんどんなに辛かったです。(60代・女)
 - ・細かい情報が非常によく調べられていて驚きました。平塚で大きな空襲があったことは同じ県内に住んでいながらよく知らなかったのが驚きです。市内の人向けの展示だなどは思うのですが、土地勘が無いので空襲のあった全体像などもう少し全体像を地図で見せていただけるとありがたかったです。(20代・女)
 - ・16才頃迄馬入に住んでいました。3才頃寒川～馬入に引越してきた頃バラックの家が多かったのをおぼえています。祖父や父の話しではどの位の焼け方が興味がありましたが、よくわかり胸が痛みました。(70代・女)
 - ・江藤巖様 岡崎徹 既往朝日新聞で久し振りにお写真を拝見させて頂き、御元気そうでなによりです。運動がてら自転車できました。焼夷弾が何より生々しいですね。(70代・男)
 - ・(要望)民間人の空シユウ被害の国家補償制度がいまもって何も存在しない事実を「広報」していただきたい。(旧軍人、とりわけ当時高い地位にあったA級戦犯の遺族らには手厚い国家補シヨウがなされているのに引きかえ)(70代・男)
 - ・きわめて貴重な展示を拝見、企画調査の困難をお察しいたします。どうもありがとうございます。被害者性とともに加害者責任と戦争協力の[]の歴史をしっかりと伝えられていて敬意を表します。ご苦労さまでした。一点朝鮮人徴用工の学生の有無が気になりました。(60代・男)
 - ・最近県内に住みはじめ、平塚に空襲があったことを知りませんでした。(40代・女)
 - ・読めない漢字やわからない言葉がいくつかありました。読みがなや説明等を加えていただくと大変ありがたいです。せめて難しい漢字には読みがなをお願いします。(60代でも読めないもので、若い人たちではなおさらだと思います。)(60代・男)
 - ・特別展として内容が充実、よくここまで調べ、まとめ、展示できたと思いました。コロナ禍なおで人の密集をさける意味でも展示期間を長くしてでも子供達に知ってもらおう機会へ。(70代)
 - ・なぜ「おもしろさ」という質問があるのかわからない。
戦争⇒特に今住んでる場所とのつながりがよくわかり、若者・子供達にぜひ見てもらいたい。学校で見学する時間をつくり、生徒たちに知ってほしい。(70代・女)
 - ・昔、親に聞いた話を思い出した。我が家も空襲でもえたそうです。(70代・男)
 - ・1939年生まれの私が、戦争体験は6才逗子の山上から。(平塚がやられたあ!!)と兄の声、防くうごうから出てながめた。大山近くの町、平塚が赤かくみえた。80才になって兄の言葉に(今も残っていたあの時の越え)是非平塚を知りたくて来てみました。とても“悲惨さ”は伝わるが、資料がほしいと思いました。(80代・女)
 - ・この時私は5才(S15年二月生れ)厚木の町中に住んでいて、私がリックを背負い、母は弟(1才)を背負い、祖母と一緒に大ゼイの人達と「山の方がいい!」の声に今の厚高のあたりをめざしてにげました。焼夷弾が「しゅるしゅる」と落ちてきて着弾して燃え上り広がってゆくのを皆と一緒に見ていました。今回の展ラン会で「日・時間」と「燃えた場所」が確認出来大変

参考になりました。その様子は図録 46 ページの平田さんの絵のようでした。そのあと昼間、小型機により低空機銃掃射と受けて母と弟と「おしいれ」に入りました。トタン板に機銃の跡が残っていました。(80代・男)

- ・ 展示解説がなくなって残念。来年も開催してほしい。(50代・女)
- ・ 戦後 76 年の今、当時 7 才の私は焼あとのすさまじいこう景を忘れることは出来ない。金目に口開こていて端に落ちた焼い弾に上り母の居間に飛び込んだ飛び込んだ破片は恐しい限りと記憶している。焼跡のカン詰の山はどうしたのだろうか？(80代・男)
- ・ 涙が出てしまった。子どもたちにも見て欲しいと思った。(←リモートで学校で見れるビデオみたいなものもいいですね！) 関心を大人が示すこと、伝えること、続けることが大切と思いました。(40代・女)
- ・ 平塚で暮らすようになって 30 年近いが、戦争について知らなかったのので来てみようと思った。見ているうちに涙が止まらなくなった。みんなにも知ってほしいと思った。(50代・女)
- ・ 貴重な資料、特に米国立公文書館のものが多く展示され、アメリカから見た平塚空襲の姿が分かった。私は高校の歴史科教員であるが、ぜひ学徒勤労などについて教えていただきたい。一点順路が分かりづらいと思った。(20代・男)
- ・ 地区ごとの焼失状況を示した図は興味深い。よく掘り起こした。(60代・男)
- ・ 大画面のライドショーが印象的でした。又、米国の資料をもとに今の平塚で説明されて、分かりやすかったです。調査の根気に頭が下がります。(70代・女)
- ・ こどもと見に来ましたが、こどもにはむずかしかった様でした。(30代・女)
- ・ 話には聞いておりましたが、実際に見てみるとよくわかりました。伝えていかなければいけないことだと思います。ありがとうございます。(60代・女)
- ・ 自分が体けんした時を思い出してしまった。(80代・女)
- ・ 平塚空襲の前後、1930 年代初めから戦後 1950 年までの状況を詳細にわたり展示され、感動しました。(60代・男)
- ・ 記念講演オンラインで残念でした。平塚に引越してきた 5 年を過ぎましたが、知らないことばかりで勉強になりました。(50代・女)
- ・ ただかなしい。涙が出てしまう。(80代・女)
- ・ 難しいけれど聞き取りにこれからも力を注いでほしい。(女)
- ・ (母方の) 祖父が火薬しょうの TOP を務めており、(その後船岡の TOP も務めたようです) 私は官舎で S24.3 生誕。生後直ぐに東京に移りましたので、生家の官舎は数枚の写真で知るのみでしたので、ぜひ当時の状況を知りたくて来場しました。(母が祖父の長女。当時の話はほとんど聞いていないので) 官舎の位置もほぼわかりましたので、この後車で通ってみようと思います。出版の資料を購入し、祖父のこん跡がないか調べてみようと思います。この様な展示を開催して頂き、大変感謝申し上げます。感慨深いものがあります。又、このような機会を作って頂ければ有難いと思います。(来場されていた方には「火薬しょうに祖父が務めていた」と言っておられた方もあり、当時をしのんで来られる方も多いようですね。)(70代・女)
- ・ 大変参考になりました。平塚に住んでいたのに知りませんでした。戦後 75 年、なかなかわすれがちですので、ぜひ 8 月には毎年開催してください。そして小学生への教育の場として使用してください。(60代・男)
- ・ 当時の方が描いた絵がととてもリアルで、保存もしっかりとされていたことに驚いた。また、被災を受けた方が大人になってから書いた文章も悲惨な当時を思い起こさせた。(40代・男)
- ・ 大野村がまとめていた被災状況についての調査を見て、今の政治にはこれがない！と思いました。きちんと声をきいて、きちんときろくして、ちゃんと保全する。どれもたいせつなことですよね。(40代・女)
- ・ 子供に伝える事が大事な話ですが、学校でもあまりふれず、親が説明するのもむずかしいので、見に来てよかったです。特に絵で表した空襲は、子供にもわかりやすく良かったと思います。

- 夏休みは毎年戦争について親子で考えられるよう見にきたいと思います。(40代・女)
- ・ 右に記しましたが、やはり大変なこととつくづく思いました。多少不利でも戦争は絶対してはいけないと思いました。ただ、登場する人々の表情や文字などは本当に心うたれました。仲々知ることができにくい内容も教えていただきありがとうございました。(70代・男)
 - ・ 戦争はやってはいけないと分っているのに何故人間はやめられないのでしょうか？武器を作る人がいて、それを売り、買い求める人がいて、繰り返しております。しかし日本は世界の中では平和なので助かっております。(80代・男)
 - ・ 若い方の来館も多く、とても有意義な展示と思いました。被災した市民の側からの調査であることも何より需要を感じました。(70代・女)
 - ・ 前回(65年特別展)よりさらに細かく、新しい資料があり、良かったと思います。(70代・女)
 - ・ 母から平塚空襲のことは聞いておりました。(須賀にいて馬入川に避難したそうです。)今回は姉(当時2才)と一緒に来ました。いろいろな資料を拝見して母の大変さが改めて解りました。とても有意義な展示で、これからも永く伝えていくことが大事だと思います。(60代・女)
 - ・ 資料しゅう集が良く整っていると思いました。昭和20年の夏が思い出されます。ありがとうございました。(80代・男)
 - ・ 私は1943年生れ(1才と8ヶ月でした)現在は茅ヶ崎在住ですが平塚空襲の事は亡くなった母から聞かされておりました。その話がこの展示を見たことにより、より鮮明につながった感じを受けました。記憶のない出来事が想像以上のものでした。ありがとうございました。
 - ・ この展示を本にまとめていただけると良いかと思えます。ほしいです。(40代・男)
 - ・ 平塚空襲は断片的なことしか分かっていなかったのが、今日全容が良く判かり、「火薬しょう」「航空機製作」の当時が特に理解できた。ありがとうございます。(70代・男)
 - ・ 戦争の記憶を時々レビューすることは重要だと思う。展示資料(学校日記や学生の日記など)のデジタル化・公開を進めてください。(40代・男)

調べてみたい、知りたいと思っていること

- ・ 中世史に興味があるので、鎌倉～室町期の文献中心の展示が見たいです。(50代・女性)
- ・ 博物館を拡張して時代の展示品のスペースを広げて欲しい
- ・ 戦前・戦中・戦後の庶民の暮らし、生の声がわかるような史料を展示して欲しい(50代・男)
- ・ 特になのですが、これからも平塚について知れることを増やし学びたいです。
- ・ 平塚空襲についての市内小学6年生への出張授業があったらいいなと思っています。このご時世、難しいですかね…。(40代・女)
- ・ 砲台や防空ごうの跡など実際に見て確認したことがあるが、平塚にはまだまだ私の知らない戦争の歴史があるので調べてみたいと思いました。平塚の戦争の歴史について(40代・男)
- ・ 現在と戦前等を比較した展示方法を取り入れていただきたいと思えます。(80代・男)
- ・ 祖父が火薬しょうで勤め、20年7月16日の空襲で直撃で亡くなっています。亡くなった方の詳しい資料が有りましたらおしえて欲しいです。(70代・男)
- ・ 地名の由来について(50代・女)
- ・ 金目川の橋に落とされた焼夷弾だったのでしょか。(展示物には8/1に金目に爆撃があったとありますが)(80代・男)
- ・ 立ち続けて疲れました。ところどころにイスなど置いていただけると助かります。(70代・女)
- ・ 戦争のつめ跡を定期的に展示されていることに感謝。又の開催を期待致します。有難うございました。(60代・男)
- ・ 博物館がこうした取りくみをされることの意味は大きいと改めて思えます。継続してくださいませ。
- ・ 学校史(40代・男)

今後の事業計画等について

1. 展示

(1) 特別展

秋期特別展「神奈川の大地—1億年の記憶—」 10月23日(土)～1月10日(月・祝)

博物館文化祭 2月5日(土)～2月20日(日)

春期特別展「掘り起こされた平塚IV(仮)」 3月19日(土)～5月8日(日)

(2) 寄贈品コーナー

11月	6日	(土)	～	12月	5日	(日)	「新着資料展」【人文分野】
12月	9日	(木)	～	1月	16日	(日)	平塚周辺の地盤と災害【地質】
1月	20日	(木)	～	2月	23日	(火)	館蔵浮世絵展【歴史】
2月	26日	(土)	～	4月	3日	(日)	ハレの日の装い(仮)【民俗】

(3) 情報コーナー

10月	22日	(金)	～	1月	23日	(日)	アルマ望遠鏡が見た宇宙【天文】
1月	27日	(木)	～	3月	27日	(日)	ポスト特別展「神奈川の大地」【地質】
3月	31日	(木)	～	5月	11日	(水)	「星座“誕生”100年」【天文】

2. プラネタリウム一般投影

10月2日～11月28日 アルマ望遠鏡が見た宇宙

12月4日～1月30日 2020年の天文現象

2月5日～4月3日 鎌倉武士が見た星空 吾妻鏡に残された天の記録

3. 普及行事

(1) 申込制行事

【考古】考古学入門講座 10月30日(土) 11月27日(土) 12月25日(土)

【歴史】郷土史入門講座 1月23日(日) 2月20日(日) 3月20日(日)

【民俗】体験学習「お飾りをつくろう」 12月26日(日)

【地質】神奈川県域ジオツアー(特別展関連行事)

11月28日(日) 12月4日(土) 1月9日(日)

【生物】自然教室 11月13日(土) 3月19日(土)

【天文】星を見る会 11月26日(金) 12月10日(金) 1月21日(金) 3月11日(金)

体験学習「望遠鏡をつくって月食を観察しよう」 11月13日(土) 14日(日)

体験講座「ISSで働くロボットをプログラミングしよう」 11月28日(日)

天文学入門講座 11月20日(土) 12月4日(土) 1月15日(土) 2月12日(土)他

最新天文学講座 未定

【総合】「平塚学」入門講座 1月8日(土) 1月15日(土) 1月22日(土)

(2) 会員制行事 神奈川県「基本的対策徹底期間」にあわせ11月中は現状を継続

●ホームページと YouTube・SNS

表1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	25,341	28,945	26,819	30,766	34,800	28,219	23,259	19,940	18,065	21,994	18,155	18,921	295,223
2018	20,475	25,132	29,789	32,176	33,089	21,153	23,105	18,716	17,535	20,503	17,944	22,199	281,816
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293						203,997

※(斜線はデータ消失のため、該当データを除く2015～20の平均値で補完)

表2 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube 視聴回数

年度	閲覧数 (2016年3月まで7,941)												総閲覧数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	510	359	523	475	345	435	3,099	9,774	1,749	9,833	1,130	30,286	58,518
2018	12,521	834	603	2,159	3,615	555	1,615	3,047	1,527	2,176	615	830	30,097
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026						26,480

開始(2011/1/9)から2021年10月末までの累計184,140

表3 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数 (2016年3月まで10)												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	1	0	1	1	0	4	6	13	7	4	2	0	39
2018	6	1	4	3	4	0	1	8	2	3	1	3	36
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22						334

開始(2011/1/9)から2021年10月31日までの累計776人

表4 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

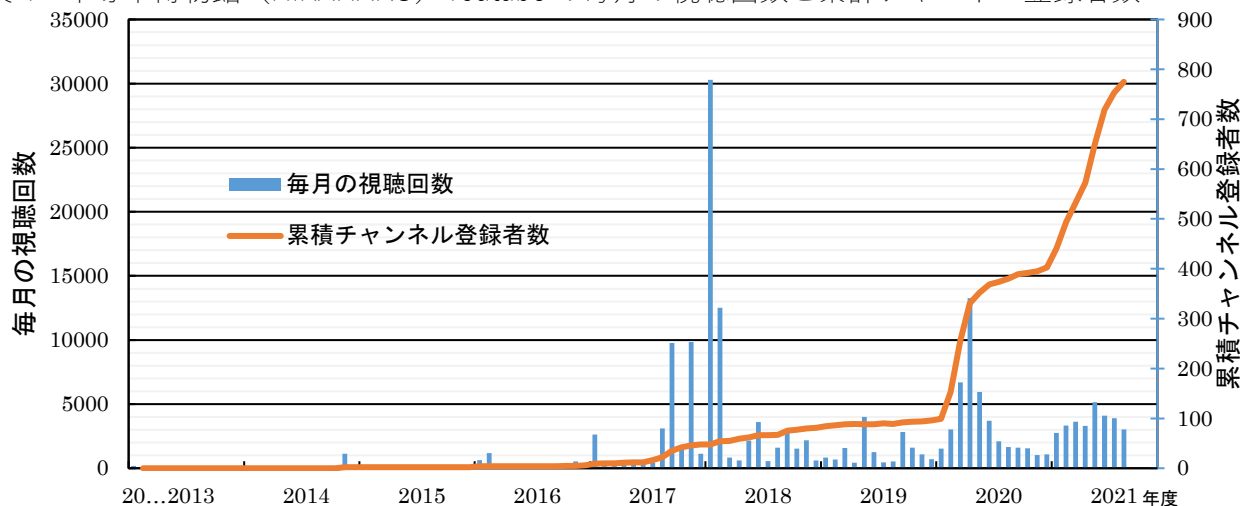


表5 「5分でわかる平塚学入門」(HIRAHAKU) 公開進捗率 (11/19 現在)

	全	終了	残	完了率
天文	10	6	4	60.0%
地質	14	7	7	50.0%
生物	6	5	1	83.3%
歴史	13	6	7	46.2%
考古	10	7	3	70.0%
民俗	20	8	12	40.0%
歴史・天文	1	1	0	100.0%
歴史・地質	2	0	2	0.0%
	76	40	36	52.6%

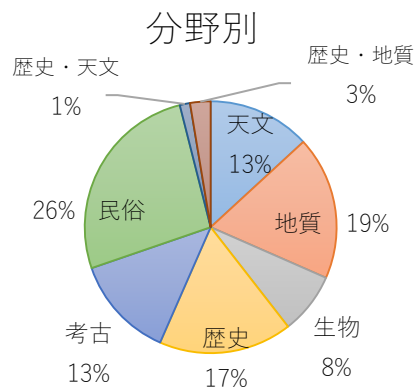


表6 「おうちで楽しむ はくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (10/未現在)

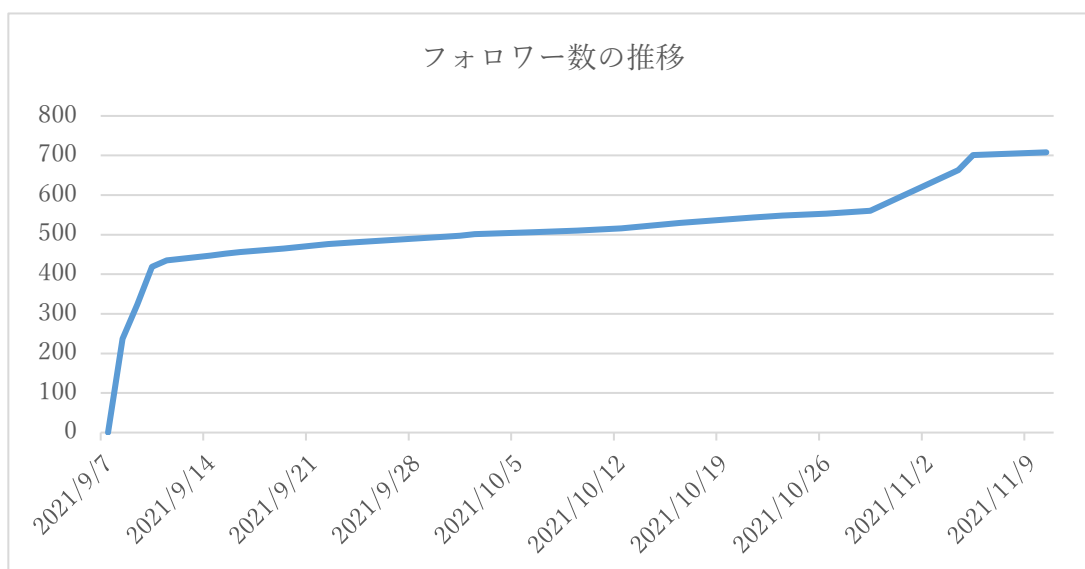
	視聴回数	アップ日	視聴数
1	おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	4825
2	おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	2559
3	2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/25	1408
4	5分でわかる平塚学入門「金目川の治水」	2021/4/30	902
5	5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	706

表7 「5分でわかる平塚学入門」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (10/未現在)

	視聴回数	アップ日	視聴数
1	5分でわかる平塚学入門「金目川の治水」	2021/4/30	902
2	5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	706
3	5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/4/23	648
4	5分でわかる平塚学入門「須賀のボテイ」	2021/5/14	633
5	5分でわかる平塚学入門「プレート境界と相模川の成り立ち」	2021/4/9	582

平塚市博物館（HIRAHAKU__） Twitter

2021/9/7 新規開設。概ね 1 日 1～2 回投稿。10/末までに 100 ツイート発信。フォロワー数 560 人。



平塚市（公式）LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週 1 回投稿。10/末までに 13 回投稿。登録者数 11,497 人（11,937）

新型コロナによる館事業の制限解除の基準と時期について

・令和3年9月30日をもって全国の「緊急事態宣言」が解除され、神奈川県では、10月24日まで営業時間短縮などの要請を継続し、11月30日までは「基本的対策徹底期間」とし感染対策への協力を呼びかけるとした。12月以降は感染状況等の推移を見つつ（段階的に緩和を）検討とのこと。

このことから、博物館の行事、プラネタリウム、展示解説ボランティア、ワーキンググループ活動等の制限緩和または解除の判断基準及び時期を検討した。

※ 定員はこれまでの会場定員の半数を上限。講堂30名、科学教室15名、特別研究室8名

活動	規制前	規制後	緩和の方向性、時期
プラネタリウム ・一般投影 ・幼児投影 ・学習投影	2回/日、 各70人 市外の園、校 でも可	1回/日、32(26)人、事 前の整理券制 市内の園、学校のみ 1校園/日、32人 開催回数縮小	・人数は現行、投影を2回/日 に増加。広報のタイミングを考 えると最短年明け、人数制限の 解除はその後か？ ・整理券制は継続 ・新年度？どこまで(日数・範 囲)復元するか？
各(体験)講座		講堂、科学教室の規制人 数に合わせ人数制限。 基本事前申込み	・人数規制解除 ・事前申し込みは継続か？
館外行事		人数と実施時間(半日単 位)、開催場所(市内近隣) を制限	・人数制限を解除？ ・時間制限を解除？ ・開催エリアを解除？
星を見る会	自由参加	事前申込みで15組、最大 60人	事前申し込みは継続か？
展示解説 ボランティア	曜日ごとに 2~3人	休止	・常設展のみ先行実施？ 事前申し込み？ ⇒一般観覧者との混在はあま りない？ 周知に課題
学芸員の特別展 展示解説	自由参加	展示室での解説は休止。 講堂での事前申込み制で 実施。	・当面、講堂での解説講座で事 前申込み制を継続 ・

※ (参考：国立民族学博物館「新型コロナウイルス感染状況に応じたみんぱくの活動基準」)